

京急大師線 川崎宿400年記念ロゴヘッドマーク車両

特別なヘッドマーク車両でSNSも盛り上がる

「話題性を創出することで注目を集めたい」との思いから、京急電鉄の協力のもと、年末年始で賑わう京急大師線に、2022（令和4）年12月26日（月）から2023（令和5）年1月28日（土）まで、川崎宿起立400年記念ロゴマークのヘッドマークを付けた電車を運行していただきました。

さらには、この特別車両の写真をX（当時Twitter）上で投稿いただいた中から優秀な作品を表彰するキャンペーンを行った結果、たくさんのご応募をいただき広く周知することができました。



最優秀賞

京急ファンtvさん作品



優秀賞3点



マサータさん作品



かんちさん作品



平出隆さん作品



京浜急行電鉄株式会社
新しい価値共創室 エリアマネジメント推進担当 芹澤 松一

川崎宿起立400年を契機に川崎の街を多くの方に知っていただき、遊びに来てほしいとの思いで、どのようなテーマをもって広報を行っていくかを話し合いました。そして生まれたのが「0ねもすかわさき」であり、広報プロジェクトの様々な取り組みです。川崎市民だけでなく、市外の方にも川崎、川崎宿を知ってもらおうきっかけを創出しました。この取り組みがこの先に繋がっていき、今と未来が結ばれていけば嬉しいです。

東海道川崎宿スタンプラリー2023秋

川崎宿の史跡や名所を体験しながら巡るスタンプラリー

例年開催していた「東海道川崎宿スタンプラリー」を川崎宿起立400年記念の特別仕様で2023（令和5）年10月7日（土）に開催しました。街道筋及びその周辺の史跡や名所、21ヶ所でスタンプポイントを設定、各ポイント運営は地元の町内会や東海道に係る市民活動団体が担当し、参加者を案内・歓迎しました。

その他歴史等の「クイズポイント」や、浮世絵刷り版画、昔遊びや俳句などの「体験チャレンジ」も設定し、歴史文化を体験できるイベントとしました。



ポイント（運営団体）一覧

- スタンプポイント・ゴール
- ①②六郷の渡し、万年屋跡（旭町一丁目町内会）
 - ③初代市長石井泰助（本町二丁目東町内会）
 - ④川崎稲荷社 ⑤田中本陣跡（本町二丁目町内会）
 - ⑥一行寺（本町一丁目町内会）
 - ⑦宗三寺（砂子1丁目町内会）
 - ⑧東海道かわさき宿交流館
 - ⑨稲毛神社（宮本町町内会）
 - ⑩櫻楼（櫻町町内会）
 - ⑪妙遠寺（宮前町町内会）
 - ⑫佐藤本陣跡（砂子二丁目町内会）
 - ⑬東森稲荷神社（東田町町内会）
 - ⑭川崎浮世絵ギャラリー
 - ⑮坂本九さん歌碑（かわさき歴史ガイド協会）
 - ⑯石敢當（川崎沖繩県人会）
 - ⑰教安寺（小川町町内会）
 - ⑱川崎小学校坂本九さん母校（川崎小学校同窓会）
 - ⑲芭蕉の句碑（日進町町内会）
 - ⑳無縁塚 ㉑夫婦橋（下並木町会）
 - ゴール 稲毛公園（東海道川崎宿2023）
無縁塚（川崎区役所）



砂子二丁目町内会 会長 山口 総一郎

イベント当日は少し風がりましたが、秋晴れの中、予定どおり開催できました。どの団体も非常に協力的で、昨年までの経験を生かして楽しく準備が出来ました。参加人数は1,030人以上と目標人数を達成することが出来ました。参加者への景品は、幅広い世代に喜んでいただくことに留意しました。体験チャレンジの浮世絵刷り版画と昔遊び、坂本九さんクイズ、俳句体験は、お子さんから年配者まで参加できる良い企画でした。

東海道川崎宿スタンプラリー2023秋

1,000人以上の参加者が川崎宿を体験

当日は天気にも恵まれ、1,030人の参加者（スタート受付・スタンプシート配布数）、約700人のゴール者（ゴールでの参加賞配布数）を得ることができました。無縁塚と稲毛公園の二ヶ所に設定されたゴールでは、参加賞として「川崎宿起立400年記念マグネット」を配布した他、参加者が集めたスタンプ数に応じて、企業等からの協賛品や川崎宿起立400年記念のサコッシュなどを授与しました。



⑤田中本陣跡



⑫佐藤本陣跡



⑩桜塚



⑪妙達寺



⑦教安寺



⑩夫婦橋



参加賞のマグネットと
景品のサコッシュ



本町二丁目町内会 会長 白熊 康陽

スタンプラリーは、地域の町会とそこに存在する歴史的な名称・旧跡の紹介、将来に対する地域文化の継承の為の大きなツールと考えます。

地域と密着した情報発信のイベントとして、次の世代へ伝えていくことが大切であり、どのような形でも継いでいく必要があるでしょう。本町二丁目町内会としても、川崎稲荷社、並びに陣屋（田中本陣跡）の伝承を行ってゆきたいです。

第35回 東海道シンポジウム2023川崎宿 ～むすび つながる 東海道～

歴史の道 東海道宿駅会議が毎年、東海道の宿場町で開催している「東海道シンポジウム」を、2023年は川崎市との共催、川崎宿起立400年を記念する大会として2023（令和5）年10月21日（土）午後カルッツかわさきホールで開催し、全国から関係者、地元川崎市民など計700人以上の観客を集めました。

開会式・基調講演

主催者や来賓によるあいさつの後、大会のシンボル「旅路の像」が前回開催地の亀山宿から川崎宿へ引き継がれました。

続く基調講演では、江戸に詳しく歴史タレントとして数々のメディア出演や著書のある堀川菜純さんに「川崎宿と江戸の女たち」と題して、川崎の宿場時代の姿や出来事、そこにいた女性たちの姿を紹介いただきました。



歴史の道 東海道宿駅会議 堀江理事長 挨拶



司会の鈴木さん、平出さん（左から）



旅路の像の引き継ぎ



堀川菜純氏の基調講演



東海道川崎宿2023 下村 京子

各宿場を巡る東海道シンポジウムを、起立400年を迎えた川崎宿で開催でき、うれしく思います。シンポジウムPRイベントなどの場で、「御紋むすび伝説にちなんだおむすび音頭をいっしょに踊りましょう」と呼びかけた結果、シンポジウム当日に多くの方に集まっていただき、皆さんと踊ることが出来ました。

おむすび音頭は5年前から各町内会の盆踊りで踊っていただきました。コロナ禍でも赤いマスクを着用し梅干しおむすびになりざりました。富士通スタジアムや稲毛神社などでの各種イベントでも皆さんと踊ってきました。

これからもおむすび音頭の輪を市内外に広げていきたいです。

第35回 東海道シンポジウム2023

◆ パネルディスカッション「むすび、つながる東海道のまちづくり」

枚方宿鍵屋資料館の辻他氏、鞠子宿17代丁子屋平吉の柴山氏、旧東海道品川宿まちづくり協議会の大越氏、川崎宿から石渡氏が、それぞれの宿場の取り組みを発表。まちづくりって何をしているの？まちづくりのコツや課題、「むすびつながる」ことの大切さなどについてディスカッションしました。



◆ 御紋むすび伝説で川崎宿をアピール!

紙芝居屋 もっちいさんが、川崎宿が三角おむすびの発祥の地だという「御紋むすび伝説」を紹介、その後は市民有志おむすび-ZU制作の「川崎おむすび音頭」を会場一体で歌って踊って盛り上がりました。



東海道川崎宿2023 石渡 稔也

品川宿・大越さんの「歴史の道、東海道が世界遺産入りするまで頑張りたい」との言葉に感動。川崎宿も負けてはいられません。

約20年前に市民の声から始まった様々な動きが「東海道川崎宿2023」や「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」の取り組みを経て、川崎宿の認知度も上がってきたと感じます。

川崎宿は交通のアクセスも非常に良いので、防災、観光などの面から街道の整備に力を入れ、他の宿場からうらやましがられる日本一の宿場・道になる事を目指し、次世代の皆さまにバトンタッチしていきたいです。

川崎宿 ～むすび つながる 東海道～

会場内やロビーで展示やおみやげ販売 夜は交流会

ホールロビーでは、東海道川崎宿に関する模型や解説パネル、写真や作品の展示、参加した各宿場の広報物などが展示されました。ホール出入口外のデッキ上では、川崎宿のおみやげ等を売る出店もあり、賑わいました。閉会后、各宿の関係者が集まり川崎商工会議所で交流会も開催し、宿場間の情報交換、交流も一層進みました。



東海道川崎宿2023 代表 原 宇八郎

過去のシンポジウム大会では、各宿場の地元愛や、東海道への熱い想いに感謝を受けてきました。川崎宿大会の基調講演は、歴史タレントの堀口茉純さんに、若い女性目線から川崎宿の歴史や魅力を語っていただきました。丸子宿の柴山氏の座右の銘「咲いた花見て喜ぶならば、咲かせた土の恩を知れ」が強く印象に残っています。鈴木よしえさん、平出隆さんの息の合った司会進行も大会を盛り上げました。700人も参加者を得、成功裡の内に大会を終えることができたのは、関係者の熱い思いと官民一体の20余年に渡る活動の成果です。この場をお借りして、皆さまに深く感謝を申し上げます。

※写真はシンポジウム閉会式で次回ホスト新居宿の寺田さんに大会旗を手渡す原さん(左)

東海道川崎宿起立400年記念 企画展示

川崎宿まちなみジオラマ展・市内図書館巡回PR展示

川崎宿起立400年を記念する秋の諸イベントの開催予告も兼ね、川崎宿のジオラマや写真、解説パネル等の巡回展示を2023（令和5）年5月から12月まで、アトレ川崎（JR川崎駅ビル）、富士通スタジアム、イトーヨーカドーや川崎信用金庫、図書館や市庁舎など区内各所で行いました。



東海道かわさき宿交流館、川崎浮世絵ギャラリーでの企画展

東海道かわさき宿交流館では2023（令和5）年10月から11月末に、「川崎宿1623～2023」と題し、川崎宿の歴史に係る企画展示を開催。期間中に江戸時代の旅や食に関する特別講演、古文書講座なども開催しました。



川崎浮世絵ギャラリーでも、特に東海道関連の浮世絵を取り上げた企画展「あれもこれも東海道展」「歌川広重 東海道五拾三次之内 雪月雨風の世界」を2023（令和5）年10月から12月に開催しました。



東海道かわさき宿交流館 副館長 濱舘 幸二

川崎区役所と調整を図りながら当館開館10周年に当たる10月1日（日）に、10周年記念式典＋開館10周年祭り＋中間灯点灯式＋川崎宿1623～2023特別企画展（10/1～11/26）を同時開催することができました。続けて10月7日には、事務局として東海道川崎宿スタンプラリーの開催、10月21日の東海道シンポジウムにおける連携事業の実施等、全て無事に滞りなく実行できました。これも皆さまのご協力ご支援の賜物と深く感謝しております。

これからも地域の交流・振興に係る事業に邁進しつつ、川崎宿の発展に少しでも寄与したいと思っております。

東海道川崎宿・大師道 御朱印めぐり

川崎宿、大師道の4つの神社を巡って 集める特別な御朱印



2023（令和5）年10月の上・日・祝日に「東海道川崎宿・大師道 御朱印めぐり」を開催しました。稲毛神社、川崎稲荷社、大師稲荷神社、金山神社の4社の限定御朱印を集めた方には「満願守」が授与されました。



満願守の表（左）と裏（下）



専用台紙に集められた限定御朱印



若宮八幡宮 禰宜 町田 喜江

御朱印めぐりは、川崎宿ゆかりの4社にご協力を頂いて実現しました。専用の御朱印台紙や記念の満願守は、起立400年らしさを感じられるよう、「東海道五十三次之内川崎六郷渡舟」の浮世絵（公益社団法人川崎・砂子の里資料館所蔵）の起用など、細部までこだわったデザインとしました。

若宮八幡宮の境内社である金山神社の「かなまら祭」は、かつて川崎宿周辺に住む飯盛女たちが厄除け祈願をしていたことに起源します。母と亡き父が仲間と共に川崎宿を盛り上げようと長年取り組む姿を見て育ち、私自身も地元の方と川崎宿のインパウンド需要を高める活動に取り組んでいます。

六郷の渡しまつり2023



会場全体の様子 水上にはクルーズ船



復活!六郷の渡し

イベントチラシ



川崎⇄羽田クルーズの運行

江戸時代の渡し舟が、現代のクルーズ船として復活! 屋根無し・有りの2艘、全8便が運航され、招待客や事前抽選に当選した方々、約300名が、六郷橋⇄多摩川スカイブリッジの約1時間の乗船を楽しみました。

地元川崎のうまい店が集結! ビアフセスも開催



地元川崎や宿場の行列店が数多く出店。多摩川流域、東海道のクラフトビールのお店も並びました。会場は1万人以上の来場で一時は携帯電話が繋がりにくくなるほど混雑し、売り切れ店も出る中、水辺を眺めながらくつろぎ楽しむ人々で、遅くまで会場は賑わいました。



川崎新宿青年会 会長 西井 健

東海道川崎宿の魅力は、歴史的な建物や風景を思い起こさせる場所と食文化です。本陣や旅籠などの歴史的な建築物の大半は失われてしまいましたが、六郷の渡しまつりでは一日限りで渡し場を復活させ、宿場町当時の繁盛ぶりや交通の要所としての役割を感じられる機会となりました。川崎はかつて日本各地から集まった人々が交わった場所であり、今でもさまざまな食文化が根付いています。六郷の渡しまつりでの、クルーズ船乗船や地元料理の飲食などのさまざまな体験を通じて、東海道川崎宿の歴史や文化に触れていただけたのであれば幸いです。

2023（令和5）年10月22日（日）、川崎宿を描いた多くの浮世絵に登場する「六郷の渡し」のあった多摩川六郷橋下流河川敷に賑わいを創り、東海道筋、鉄道駅（JR・京浜急行）等との周遊性を高めるイベントを開催しました。

🌀ステージやスポーツなど、様々なお楽しみや体験を提供

ステージでは川崎で活躍するミュージシャンや芸者衆がパフォーマンス。川崎フロンターレ、川崎ブレイブサンダース、NECレッドロケッツ、川崎新田ボクシングジムなど、プロスポーツチームによる競技体験や、小川町町内会によるお神輿体験などのブースでは多くの子どもが楽しむ姿も見られました。



🌀東海道をって祭り会場へ！

東海道シンポジウム翌日に開催され、全国の宿場からの来場もありました。かわさき歴史ガイド協会による川崎宿や川崎大師のガイドツアー、川崎⇄大師⇄羽田空港のオープントップバスの運行、東海道歩き旅アプリ「膝栗毛」の活用による商品券プレゼントなども展開され、多くの方が東海道の魅力を体験しました。



川崎銀座商業協同組合 理事長 小林 一三

今回は過去2回の「六郷渡場フェス」から規模を拡大し、より多くの来場者に、より長い時間いてもらえるようにキッチンカーや体験ブースなどを数多く揃えました。また、ステージの音楽を聴きながら、ゆったりできるよう、川辺をリラックスチェアで埋め尽くし、皆さまにご利用してもらえました。

当日までに20回の打合せや会議があり、地元の川崎新宿青年会のメンバーを中心に意見交換をして、1万人以上の来場者に来てもらえて、苦勞した甲斐がありました。今後この場所が東海道の渡し場復活として、工場夜景クルーズなどにつながり観光の目玉になってくれればと思います。

川崎宿起立400年を盛り上げる

東海道川崎宿起立400年記念レースの開催

川崎競馬場及び競輪場で、「東海道川崎宿起立400年記念」を冠したレースが開催されました。

競馬は2023（令和5）年9月12日（火）開催の第10レース、競輪では11月11日（土）～13日（月）にかけてのレースに協賛し、優勝者に副賞を提供しました。競輪場では12日（日）、浮世絵刷り体験などのワークショップも会場内で行いました。



川崎競輪 表彰式



川崎競馬場ドリームビジョン



川崎競輪ポスター

オリジナルフレーム切手、記念小型印

日本郵便株式会社の協力を得て、オリジナルのフレーム切手及び小型印が制作されました。

フレーム切手は東海道川崎宿の中間灯にも使用された川崎を描いた浮世絵が盛り込まれたデザインで、10月から川崎区内の郵便局で販売した500シートが早々に完売しました。（現在は販売終了。）

小型印は川崎宿起立400年記念ロゴをそのままデザイン化したもので、2023（令和5）年10月から12月の3か月間限定で、川崎京町郵便局が扱う郵便物に押印されました。



日本郵便株式会社 川崎京町郵便局 局長 浅古 健一

フレーム切手は企画段階から何度も打合せを行って、レイアウトなどの修正を繰り返し、納品・販売にこぎつけることができました。

小型印は絵が細かく、きれいに押印できるか心配でしたが、とても素敵な小型印が完成しました。私自身、今回初めてフレーム切手と小型印を作製し、色々と苦勞もありましたが、フレーム切手は早々に完売、小型印も国内外から延べ500通以上の押印依頼があり「川崎宿起立400年」の関心の高さを強く実感することができました。

地域の動き

川崎宿起立400年プロジェクト推進会議の参加団体・企業・商店等を中心に地域でも様々なイベントやキャンペーンが開催された他、川崎宿にちなんだ企画商品やパッケージ、キャラクター等が誕生しています。

川崎宿起立400年を記念したイベント



川崎夜市
(11月、川崎夜市実行委員会)



工場夜景・宵大師バスツアー
(8月ほか、川崎宿インバウンド研究会)



お寺で弦楽四重奏
(9月、カルテットシスレー)

その他の記念イベント例

川崎宿大学「伊能岡でみる川崎宿」(2月、東海道川崎宿2023)、学習発表会～大師地区の今・昔～東海道川崎宿400年に向けて～(2月、大師・藤崎・殿町こども文化センター)、MIMOSA FESTA 2023(2・3月、チッタエンタテイメント)、リアル謎解き「かわさき400年の秘宝」(5月、川崎青年会議所)、南武線で巡る、川崎の歴史 重ね捺しスタンプラリー(6月、JR東日本川崎駅)、緑道寄席(6月、ホテル緑道)、川崎大師風鈴市(7月、川崎大師観光協会)、夏フェス2023(8月、川崎日航ホテル)、記念公演「川崎LIVE」(8月、東海道セブンスターズ)、夏まつり(8月、富士通スタジアム川崎)、感謝大盛り大「緑」会(8・9月、川崎区盛り上げ隊)、手作りワークショップ(10月、川崎銀座街・pittan)、川崎区民 DAY(10月、富士通スタジアム川崎)、駅からハイキング(10・11月、JR東日本川崎駅)、東海道川崎宿&たじま歴史散歩(10・11月プラザ田島)、花展2023(11月、川崎市総合文化団体連絡会)、川崎ディスカバーウォーク(地図の発行、NPO法人ファンズアスリートクラブ)…ほか

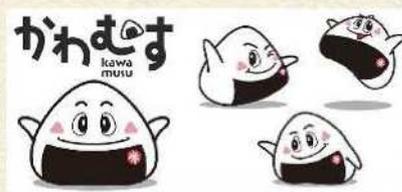
川崎宿にちなんだ商品やキャンペーン、キャラクターなど



おむすび煎餅(堂本製菓)



奈良茶飯風おこわ(菓寮 東照)



川崎信用金庫オリジナルキャラクター「かわむす」

その他の例

清酒「東海道川崎宿」(福来居酒店)、クラフトビール「1623」(東海道BEER川崎宿工場)、フィナンシェ「六郷の渡し舟」(菓寮 東照)、切りグラス「東海道」(東海道GLASS)、浮世絵オルゴール(大西家具店)、おむすび道明寺(明志屋)、ごっつあんチカラおむすび(ちゃんこ料理勝盛家)、どら焼き「多摩川の渡し」(菓子匠末廣庵)、特別な宿泊プラン・食事・体験等の提供(川崎日航ホテル、ホテル緑道、ホテルメトロポリタン川崎、SAKE Kura Hotel 川崎宿)、東海道川崎宿ブレンドコーヒー(喫茶ともだちのいえ)…ほか



川崎宿インバウンド研究会 会長 森 明弘

川崎宿起立400年をきっかけに「訪日外国人に川崎の歴史、魅力を知ってもらい、経済の活性化をはかろう!」という思いから、川崎駅前から川崎区の見どころや名所を回って羽田空港へ向かう、スカイバス(屋根のない観光バス)の運行をおこないました。参加者には川崎駅前や川崎大師の商店街で使用できる商品券を購入してもらい、バスに無料で乗車出来るという方法で行いました。川崎の歴史的遺産である東海道の魅力と水辺や川崎大師といった名所みどころを紹介出来た事に加え、今後の外国人誘致の課題やアイデアの基礎を作る事が出来たと思っています。

記念事業・活動のふりかえり 未来の

各事業に寄せられた声 (加入団体アンケートほかより抜粋)

【会議の運営】 P.4

多数の団体の参加を得られたこと自体が宣伝効果／各プロジェクトを短期間でよくまとめた／会議への参加をもっと増やしたかった／関わり方がよくわからなかった

【川崎宿起立400年記念ロゴ】 P.5

いたる所でロゴを見かけ、区民の目によくふれていた／ロゴは良く活用されていて、認知度も高く、デザインも良かった／冠事業がたくさんあった

【東海道川崎宿場まつり】 P.6-7

ステージ、飲食店、体験など楽しめるコンテンツが充実していた／活気があった／今後は東海道沿いを主会場に、他イベントとも連携したい／江戸を感じる作りを充実させたい。

【東海道川崎宿「中間灯」・まちなみ検討プロジェクト】 P.8-10

宿場のまちなみが失われている中、照明で一体感が生まれた／浮世絵で東海道らしさをアピールし、まちを盛り上げた／東海道のみちしるべとして最高！／ロータリークラブによる松の植樹もありが良かった／安心して回遊できる街道に向けて、さらに取組を

【広報プロジェクト むかしも、いまも。ひねもすかわさき】 P.11-14

ポスターやチラシで市全体を盛り上げた／東海道に興味薄い方々への周知に一定の効果があった／ブランディングは継続していくことで効果／今後、SNSの重要性が増すだろう

【東海道川崎宿スタンプラリー2023秋】 P.15-16

町内会等と連携し、町全体で盛り上げている／史跡等の由来に興味を持ってくれる人が増えた／老若男女が参加できる、健康にも良い／地域の史跡や名所を再認識できる企画／参加者数をもっと増やしたい／今後を考えると若い世代との協力・連携が必要

【六郷の渡しまつり】 P.22-23

出店者に多様性があり、集客力が高かった／六郷の魅力をお客様が肌で感じたと思う／川崎の様々な魅力を発信できた／クルーズ船に乗った人が楽しそうだった／出店者目線で稼げるイベント／六郷の渡しは川崎宿の重要な要素／常時川辺を楽しめる空間をつくりたい

川崎宿起立400年記念法被の制作

川崎宿起立400年を記念するオリジナル法被を制作・関係者に限定販売。イベント等の際に着用し、祝賀ムードの盛り上げ、一体感の醸成等に寄与しました。これまで東海道川崎宿2023の活動等で着用されてきた法被をベースに、「東海道川崎宿」の文字を中間灯と同じ稲毛神社名誉宮司市川氏の揮毫としたほか、記念ロゴをワンポイントで入れています。



初代市長頌徳碑を市地域文化財登録

川崎宿起立400年を機に、稲毛公園内に建碑されている「川崎市初代市長石井泰助大人頌徳碑」について、川崎宿起立400年記念プロジェクト推進会議の名義で、川崎市地域文化財への登録を申請、2023（令和5）年12月に認証されました。



川崎宿へのメッセージ

推進会議加入団体や関係者から伺った各事業や活動の振り返り、そして未来の川崎宿へのメッセージの一部を紹介します。

川崎宿の未来に向けた一言(加入団体アンケート、委員コメントより抜粋)

- ・今の川崎の原点の一つが川崎宿。当時を偲び、さらに明るく成長してゆきましょう。
- ・出身地に関わらず、川崎のまちに関わる全ての人とその歴史的財産を知り、価値を高めながら恩恵を享受出来ますように！
- ・川崎の歴史を踏まえた新しい衣食住の生活スタイルが感じられるような店舗、住宅等が続くまちになることを期待します。
- ・400年の歴史の重みに敬意を表すると共に、次の500年に向け、川崎宿が更なる“川崎発展”のシンボルになるよう祈念します。
- ・川崎宿が起点となって「昔と今と未来」色々な結びが生まれたらいいなと思います。川崎の特色を生かしながらも、新しい川崎が誕生することを期待しています。
- ・かつて旅人を受け入れ、おもてなしをした川崎宿の歴史を、未来に向けてしっかり紡いでいきたいです。
- ・今後も昔の川崎宿のように、川崎でたくさんの人が出会い、時を過ごせる場所でありますように！
- ・歴史を感じられ、古いものと新しいものが融合した場所にしたい。
- ・旧東海道沿道に街灯が一直線にライトアップされた中間灯はとても幻想的であり、今後も残してほしいです。
- ・これからが川崎を観光資源として捉えるチャンス!!
- ・子ども会や学校などともっと連携したい。
- ・川崎宿を誰もが歩きたくなるワクワクする観光資源にしたい。
- ・まちづくりの哲学、人の心を動かすリーダーの誕生が望まれる。



川崎夜市にて
三角おむすびを販売



川崎大師風鈴市で川崎宿起立400年記念の短冊が登場「東海道川崎宿起立400年」の文字は、川崎大師平間寺の貫首に揮毫いただきました。



川崎宿ランチョンマットと
特別メニューの給食で笑顔の川崎小学校生徒



JR川崎駅東口駅前で行われた
シンポジウムPRイベント

2024 その先へ



東海道川崎宿の活動の始まり



濱館 まず、東海道川崎宿の活動に関わり始めたきっかけや思いをお聞かせください。

石渡 私のきっかけは、1995（平成7）年の「川崎区づくり白書策定委員会」で『川崎宿に光を』と提案したことでした。

濱館 20年以上も前になりますね。その少し後、東海道の宿駅制度400周年の2001（平成13）年に開催された「大川崎宿まつり」も重要な出来事でしたね。

木村 私のきっかけは、約4年前ですが、川崎宿の認知を更に広げ、地域一帯の賑わいにつなげたいという思いから活動に関わり始めました。

濱館 今回の400年プロジェクトで目玉となったのが中間灯の設置だったと思います。まちなみ検討プロジェクトの岩澤さんからお話を伺えますか。

岩澤 まず考えたのが「東海道の存在をどうみなさんに気づいてもらうか」ということでした。戦災などで宿場のまちなみは残っていませんが、「道」があることの価値に気づいてほし

い。インバウンド客など滞在者にもっとまちなみが出て楽しんでほしい。そんな思いが形になったのが、中間灯でした。

濱館 東海道をコンセプトとしている「ホテル緑道」総支配人、吉岡さんからお話を伺えますか。

吉岡 プロジェクトに参加して、ホテルや電鉄の各企業の方々、そして地域の方々今回つながりができたことが非常にありがたかったです。また取り組みを通して、皆さんの意識が「川崎宿を観光資源としてもっと活かすべき」と変わってきたと実感しています。



つながりから生まれた新たな取り組み

濱館 東海道川崎宿を活かして、今後どんなことをしていきたいですか。

木村 東海道川崎宿をお祭りの時には歩行者天国にしたいですね。はじめは一部からでも、少しずつ広げていければいいと



これまで東海道川崎宿を活かしたまちづくりには、多くの方々が尽力してきました。これまでの取り組みとそこに込められた思い、これからのまちづくりの展望について関係者で語り合いました。

思います。東海道を懸け橋に駅前や商店街、国道側の賑わいが一体となっていってほしいです。

吉岡 ホテル業界ではコロナ禍でビジネス客が減少したことで、観光客の誘客により注力する必要があります。ホテルの価値は、宿泊するだけでなく、まちに出て、どれだけまちを体験し、人と繋がれるかだと思うので、地域との連携を強化していきたいです。現在、私共のホテルが立地する東海道から稲毛神社までの参道を周辺の地権者さんと共に盛り上げる「まちなみ座談会」にも取り組んでいます。

岩澤 私は、同年代の経営者仲間と「川崎宿インバウンド研究会」を立ち上げました。川崎の強みである利便性を活かし、羽田のトランジット需要などをつかむために、半日程度の川崎の回遊ツアーを企画し、実施しています。

濱館 先日開業した「SAKE Kura Hotel 川崎宿」さんの様に、東海道や川崎宿をコンセプトにした宿泊施設や商売の出店・開業も増えてきています。



石渡 これまでも一市民として、考え・声を上げることで色んなことを実現させてきたと思っています。今後も自分にできることは続け、次世代につなげていきたいです。

力を合わせ、2024 その先へ

濱館 今後のまちづくりに重要なことは何だと思えますか。

岩澤 まず「多摩川」は重要だと思います。「六郷の渡しまつり」で、多くのお客様が、川側に向けた椅子で談笑したり、食事をされたりしているのを見て、水辺の価値を再認識しました。水辺の整備は地域にも、来訪者にも大切なことだと思うので、行政と連携しながらやっていきたいです。

もう一つは「まちなみづくり」です。現在、東海道沿道の商店の数が減ってきています。建

替えなどの際に1階部分だけでも店舗が入れるようになれば、道の魅力も増し、賑わいます。しかし地権者として採算性や条例等の規制を考えると、そうなりにくくなっています。他地域の例も参考に、賑わいが創出しやすくなる様、規制緩和等も検討してもらいたいです。



木村 多摩川方面からの人の流れがもっとできれば、周辺商店街の賑わいも増していくと思います。

吉岡 川崎のまちを歩いた外国人で「川崎の魅力は“渋い居酒屋”だ」と言った方がいました。ディープな昭和の香りがする店が連なる横丁の雰囲気、昼夜で店主や業態が異なるお店、人が集うスナックなどができると面白いと思います。

石渡 空き店舗などを活用して、若手がチャレンジできるような仕組みがあるといいですね。

濱館 2028年には京急川崎駅に隣接し、多摩川方面に1万5千人規模のアリーナを中心とした複合エンターテインメント施設の開業も予定されており、駅・多摩川・東海道の回遊性向上への期待感が高まっています。一方、東海道周辺で雰囲気や暗い場所も残っている。例えば国道15号高架下です。

岩澤 壁面を利用して何かやるとか、明るい雰囲気になると良いですね。すぐにでも取り組みたいです。

濱館 いろんな意見や行動が、周りを動かしていくのだと思います。今後も皆さんと力を合わせ、まちづくりを楽しく進めていきたいです。



メディアでの紹介

川崎宿起立400年プロジェクトは、多くの団体・メディアにそのPRにご協力いただいた他、特集や記事等に取り上げていただきました。その一部を紹介いたします。

公共空間のモニターやビジョン、サイネージ等での広告・動画の放映

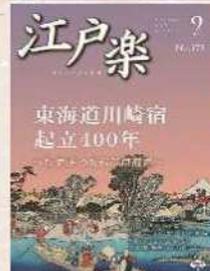
場所	時期	内容
京急川崎駅	10月	イベント総合案内
かわさききたテラス	10月	イベント案内、動画の放映等
ルフロンLEDビジョン	9/1-10/21	CM400年前を歩こう(30秒)、市長シンポジウム予告(2分)
	11/3-30	中間灯PR動画(30秒)
アゼリアビジョン	8/11-17、 10/6-12	CM400年前を歩こう(30秒)

その他:教育文化会館入口、カルッツかわさき、川崎競馬場、川崎競輪場など

雑誌・新聞等での特集

媒体名	掲載時期・号	特集の内容
こどもタウンニュース	2022年7月号	全市版で1面特集 「もうすぐ400年 川崎宿」
雑誌『江戸楽』	2023年9月号	表紙&巻頭特集「東海道川崎宿起立400年 ～むすび つながる 東海道～」20P、 別刷制作
市政だより全市版	2023年8月号	「東海道川崎宿起立400年」(1～3面)
市政だより川崎区版	2023年～ 2024年発行号	1面特集(2023年1・10月号) 連載「わたしと川崎宿」 (2023年1月～2024年1月号) 2・3面特集(2024年3月特別号)

その他記事の掲載等:朝日新聞、神奈川新聞、産経新聞、タウンニュース、東京新聞、読売新聞、「SKYWARD」(JAL 機内誌)、雑誌「歴史人」など



ラジオ・テレビ番組での紹介・特集 ※以下、事務局が把握している一部のみ

局名	番組名	放送時期・内容など
かわさきFM	かわさきDOWNSTREAM	8/18、9/26、10/17 シンポジウム、六郷の渡しまつり
	かわさき ホット☆スタジオ	10/5 シンポジウムほか
FMヨコハマ	COLORFUL KAWASAKI	10/1 中間灯ほか
YOU テレビ	地域情報番組 MyYou!	10/2-8 シンポジウムほか
		3/22-31、4/1-7 シンポジウム特別番組
ラジオ日本	住まいのトラブルバスター	10/8 シンポジウムほか
テレビ神奈川	LOVEかわさき	10/28 川崎宿紹介
NHKラジオ第一	NHKラジオニュース (気象情報・交通情報コーナー内)	10月平日 スタンプラリー、中間灯ほか
NHK	おはよう日本	12/16 御紋むすび伝説ほか

この他、HPやSNS、メルマガ等でも沢山のご紹介をいただきました。ありがとうございました。

賛助金・クラウドファンディング

川崎宿起立400年記念プロジェクトへの賛助金、クラウドファンディングへ
 たくさんの方々のご賛助・ご賛同をいただきました。
 誠にありがとうございました。

賛助金額：7,145,000円
 クラウドファンディング：340,000円
総額 7,485,000円

賛助金 クラウドファンディングご賛同者 ご芳名(計132団体・個人の皆さま) ※5月13日時点

川崎信用金庫	岩山 真士	日進商栄会
堂本製菓株式会社	饗・劉京 まるだい	芳賀 寛
池田 ハルミ	働エヌケーテックニカルシステム 沼田 直輝	開発財 シーハース 西尾 望
有限会社 成嘉	岡田 榮子	備 花紋
下村 秀雅	公益社団法人 神奈川県宅建物取引業協会 川崎支部	濱館 幸二
株式会社 山根工務店	備カネコ住販	パレール商店会
斎藤 文夫	Quartet SISLEY	東田町内会
有限会社 麗美社 下村 竜也	川崎砂子会協同組合	ピカピカわくわく川崎宿
宗教法人 稲毛神社 宮司 市川 和裕	川崎駅前仲見世通商店街振興組合	ホテルメトロポリタン川崎
川崎商工会議所	一般財団法人 川崎沖縄具人会	本町一丁目町内会
カワブルテクノ株式会社	川崎銀座商業協同組合	本町二丁目町内会
大本山川崎大師平間寺	川崎銀柳街商業協同組合	本町二丁目東町内会
南山大学人文学部 准教授 池田 満	川崎区文化協会 会長 中村 紀美子	三井住友信託銀行 川崎支店
宗教法人 稲毛神社 名誉宮司 市川 耕佐磨	川崎区連合町内会	宮本町町内会
株式会社 岩田屋	川崎小売酒販組合	武藤時計ビル
小川町町内会	練川崎ゴルフ練習場	有限会社 山善商事
NPO法人 かわさき歴史ガイド協会 理事長 藤田 智恵子	一般社団法人 川崎市弘済会	ユースキン製菓株式会社
宗教法人 教安寺	川崎市東田商店街商業協同組合	横浜銀行 川崎支店
三陽フォースタジオ	川崎宿インバウンド研究会	WILDSTOCK 松丸 裕司
下並木町会	川崎新宿青年会	中村 紀子
進栄商事 斎藤 富美子	川崎大師山門前住吉	浅内 礼子
高柳 馨	株式会社 川崎中央はりきゅう院	石渡 穂也
子ネチッタ通り商店街振興組合	株式会社 川崎中央プランナー	宗教法人 一行寺 代表役員 吉水 智栄
株式会社 東昭 代表取締役 岩瀬 巨克	川崎中央ロータリークラブ	川崎駅広域商店街連合会
日進町町内会	川崎日航ホテル	川崎市中央観光協会
平川 悦子	川崎マリンロータリークラブ	川崎大師観光協会
ブルー・リパティアー	川崎南ロータリークラブ	川崎 太朗
美之浦建設㈱ 豊浦 広哲	川崎ロータリークラブ	川崎平和通商店街振興組合
安本 好勝	備グリーンフーズあつみ	菊地 利江
吉原 真里子	京浜化工㈱	京浜土地建物株式会社
若宮八幡宮 宮司 中村 博行	小山塗料株式会社	後藤 和行
青木 茂夫	有限会社 佐野商店	下村 京子
株式会社 アクトジモティ	賛光電器産業株式会社	TMCシステム株式会社
旭町一丁目町内会	株式会社 セレモニア	東横INN Jr.川崎駅前
あだちはらパーキング	第一生命保険株式会社 川崎支社	株式会社 トムラ
株式会社 アップ総合企画	たちばな通商店街振興組合	有限会社 福米屋商店
概アドニス	株式会社 チッタ エンタテイメント	宮前町町内会
アルマーク株式会社	株式会社 ツインズシステム	横田 圭二
砂子1丁目町内会	株式会社 ディー・エヌ・エー	株式会社 リットアップ 代表取締役 吉岡 明治
砂子二丁目町内会	東都熱工業㈱	東海道セブンスターズ 代表 梅本 誠
概石渡土地管理事務所	とろろ汁の丁子屋	
市川 洋治	中野 綿斗	

※匿名希望の8団体・個人を除く

※クラウドファンディングは、CAMPFIRE(camp-fire.jp)上で、
 2024年1月～3月にかけて実施しました。

東海道川崎宿を活かした地域活性化 この20年 地域の主な動き

- 1997 平成9** **川崎区づくり白書『区民のまちづくり宣言』**
川崎宿の歴史文化に光を！の提案
- 2000 平成12** **「かわさき大師観光ガイドの会」発足 「かわさき歴史ガイド協会」前身**
第1回川崎宿めぐりウォークラリー その後、鶴見区や大田区などとの連携も経て、現在のスタンプラリーに
- 2001 平成13** **一佛寺藪入り縁日(1月)復活** 60年ぶりの開催 **新宿青年会**を中心に
「大川崎宿まつり」開催 各宿が東海道宿制400年で盛り上がる中、川崎でも大名行列や万年屋復活など実施
- 2003 平成15** **市民提案書「東海道川崎宿2023いきいき作戦」**
目標年を川崎宿起立400年の2023年に定め、16のプロジェクトを提案。後の多くの活動の基に
- 2004 平成16** **「東海道川崎宿2023」活動開始** 市民提案書をまとめた検討委員会から発展
芭蕉ポケットパーク完成(日進町)、川崎宿めぐり等すざろく(～2008)
様々な史跡案内・解説版等の整備(～現在、総合案内板・本陣跡・京口跡・内侍所奉安所跡など…)
- 2005 平成17** **アゼリア観光案内所開設、シャッター浮世絵(～2008)**
坂本九さん追悼コンサート(～現在)、能狂言教室(～現在、内公立小学校高学年対象)
- 2006 平成18** **「東海道川崎宿まちなみまちづくりガイドライン」策定、閻魔寺寄席(～2010、2012～2019)**
- 2010 平成22** **奈良茶飯再現(連連連・つなごう川崎)**
- 2012 平成24** **「麦人の会」活動(川崎宿麦わら細工)開始**
- 2013 平成25** **「東海道かわさき宿交流館」開館(10月)**
- 2015 平成27** **第1回東海道川崎宿2023まつり・三角おむすびレシピコンテスト(～現在)**
芭蕉の句碑に投句箱設置
- 2017 平成29** **三角おむすびギネス記録挑戦&達成(川崎青年会議所企画)**
- 2018 平成30** **川崎宿大学(～2023)**
「川崎三角おむすび音頭」誕生(いきいき川崎区提案事業→おむすび-ZUの活動)
- 2019 令和元** **「川崎浮世絵ギャラリー」開館**
東海道川崎宿スタンプラリー(地域一帯による実行委員会形式開始)
- 2020 令和2** **「川崎宿インバウンド研究会」発足**
- 2021 令和3** **川崎宿起立400年プロジェクト推進会議発足**
- 2023 令和5** **東海道川崎宿起立400年** 中間灯整備、シンポジウム、六郷の渡しまつりなど様々な記念プロジェクトを展開



東海道川崎宿2023 池田ハルミ

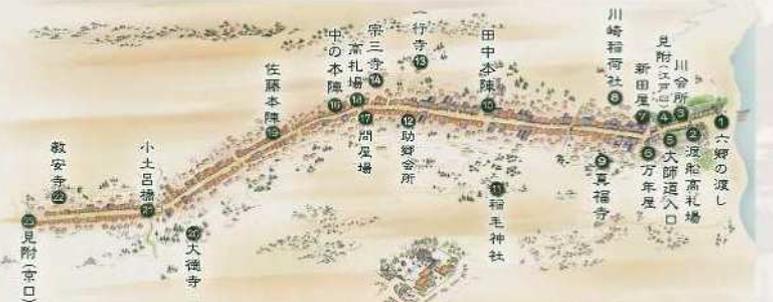
「東海道川崎宿2023いきいき作戦」の中で、川崎宿の名産・お土産として「三角おむすび」「麦わら細工」「ハゼの甘露煮」などの復活が提案されていました。
地域で食されていた東京湾の「ハゼ」は環境変化等により、現在は獲れなくなっており断念。「麦わら細工」は資料があった大森郷土資料館に、早速見学に行きました。
市民館で体験講座を開催し、参加者で工夫しながら体験、再現を始めました。こうして誕生したのが「麦人の会」です。区内イベントなどで、多くの方に知っていただく機会をつくることができました。夏休み体験講座に参加した児童の自由研究が賞をいただいたこともありました。またいつか活動を再開したいと思っています。

川崎宿起立400年プロジェクト推進会議 加入団体一覧（五十音順、134団体）

※太字は企画運営部会参加団体

愛知ふとん店、株式会社アイ・レジャー・エンターテインメント カワスイ 川崎水族館、葵薬品産業株式会社、株式会社 アクサス川崎、旭町一丁目町内会、旭港町内会、株式会社 アップ総合企画、アルマーク株式会社、砂子1丁目町内会、砂子2丁目町内会、宗教法人 一行寺、イツ・コミュニケーションズ株式会社、稲毛神社、株式会社 岩田屋、鯉・割烹 まるだ、有限会社 エスケーテックニカルシステム、小川町内会、小川町通り会、公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会川崎南支部、神奈川県中小企業家同友会 川崎支部、有限会社カネコ住販、カプセル&サウナ 川崎ビッグ、有限会社花紋、川崎砂子会協同組合、川崎駅広域商店街連合会、川崎駅前仲見世通商店街振興組合、一般財団法人 川崎沖繩県人会、株式会社川崎京香園、川崎キングスカイフロント東急REIホテル、川崎銀座商業協同組合、川崎銀座街商業協同組合、川崎区中央地区連合町内会、川崎区文化協会、川崎区盛り上げ隊！、川崎幸ロータリークラブ、川崎市栄養士会、一般社団法人 川崎市弘済会、川崎小売酒販組合、川崎市産業振興財団、川崎市中央観光協会、川崎市東田商店街商業協同組合、公益財団法人 川崎市文化財団、一般財団法人 川崎市保育会、公益財団法人 かわさき市民活動センター、川崎宿インバウンド研究会、川崎小学校同窓会、川崎商工会議所、川崎市立宮前小学校 教育後援会、川崎新宿青年会、川崎信用金庫、一般社団法人 川崎青年会議所、川崎セントラルホテル、川崎総合法律事務所、川崎大師表参道商業協同組合、川崎大師観光協会、川崎大師仲見世通会、川崎大師平間寺、川崎田島ライオンズクラブ、川崎地区ホテル連絡会、株式会社川崎中央プランナー、川崎中央ロータリークラブ、川崎日航ホテル、川崎東ライオンズクラブ、株式会社 川崎フロンタール、川崎平和通商店街振興組合、川崎マリンロータリークラブ、川崎ライオンズクラブ、特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会、川崎ロータリークラブ、宗教法人 教安寺、株式会社 久保田酒店、クラブツーリズム株式会社、有限会社グリーンフーズあつみ、京浜化工株式会社、京浜急行電鉄株式会社、株式会社Kラインサービス、三陽フォスタジオ、JTB川崎支店、NPO法人 姿勢教育の孝心会、下並木町会、有限会社進業商事、鈴庄木材株式会社、合資会社 清花堂、公益社団法人 全日本不動産協会神奈川県川崎支部、第一生命保険株式会社 川崎支社、大幸機器株式会社、株式会社タウンニュース社 川崎支社、たちばな通商店街振興組合、チネチッタ通り商店街振興組合、TMCシステム株式会社、東海道GLASS、東海道BEER/川崎工場、東海道川崎宿2023、東海道かわさき宿交流館、東海道セブンスターズ、東京電力パワーグリッド株式会社 川崎支社、株式会社 東照、東都熱工業株式会社、堂本製菓株式会社、東横INN川崎駅前砂子、東横INN川崎駅前市役所通、東横INN Jr.川崎駅前、有限会社 成喜、日進商業会、日進町町内会、一般社団法人 日本社会人アメリカンフットボール協会、林家人形店、パレール商店会、東田町内会、東日本旅客鉄道株式会社 川崎駅、株式会社 藤栗毛、株式会社 平川、特定非営利活動法人ファンズアスリートクラブファンズスポーツクラブ川崎、有限会社 福栄屋商店、ホテル緑道、ホテルメトロポリタン川崎、正宗産業株式会社、本町一丁目町内会、本町二丁目町内会、本町二丁目町東町内会、三井住友信託銀行株式会社 川崎支店、美之浦建設株式会社、美濃戸、宮前町町内会、宮本町町内会、有限会社 武蔵時計店、明治安田生命保険相互会社 川崎支社、株式会社 山根工務店、ユースキン製菓株式会社、YOUテレビ株式会社、横浜銀行川崎支店、有限会社 龍美社、WILD STOCK、若宮八幡宮

江戸時代の川崎宿



現代の川崎宿



※川崎市の空中写真を使用しています。

編集委員からのメッセージ

夢を未来につなげたい～やりたいことを全力で～ここからがスタート～川崎の可能性は無限に広がっている～2023を終えた今川崎宿の次の目標を定め 共有しよう!～次の100年後に向けて江戸から続く歴史的財産に磨きをかけワクワク・ドキドキ感の溢れた魅力ある街道づくりを目指して次世代にバトンタッチして頂ける事を期待します

皆様のおかげで記念誌を完成させることができました
関わってくださった全ての方に感謝申し上げます ありがとうございます

編集委員一同

発行日：2024（令和6）年6月吉日 発行者：川崎宿起立400年プロジェクト推進会議

※本冊子及びその内容に関するお問合せは川崎区役所まちづくり推進部地域振興課（044-201-3136）まで

東海道

川崎宿

400年



東海道川崎宿起立400年記念サイト内特設WEBページ

むかしも、いまも。

ひねもすかわさき

「むかしも、いまも。ひねもすかわさき」いよいよ公開。

特設WEBページ
はこちら▼



川崎宿起立400年プロジェクト推進会議 広報プロジェクト（事務局：川崎区役所まちづくり推進部地域振興課）